

2009 世界卓球選手権横浜大会(個人戦)男子日本代表選手選考基準

- ・大会期日：2009. 4 / 28 ~ 5 / 5、横浜アリーナ
- ・エントリー数：男女シングルス各 7 名、男女ダブルス各 3 ペア、混合ダブルス 7 ペア

1. 男子シングルス代表 7 名の選出方法

- (1) 2008 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日までの国際大会(世界選手権・北京オリンピックアジア大陸予選会・アジアカップ・北京オリンピック・プロツアー・プロツアー - ファイナル)においてワールドランキング 30 位以内の選手(同一選手および日本選手は除く)3 名以上に勝利した選手の中から強化本部で評価した推薦：**(最大 4 名)**
- (2) 国内選考会上位 2 名となった選手：**(2 名)**
- (3) 平成 20 年度全日本卓球選手権大会男子シングルス優勝者：**(1 名)**
- (4) 強化本部推薦(若干名)
上記(1)~(3)において該当者が 7 名に満たない場合および選手が重複した場合は、次の 2 点を勘案し強化本部にて決定する。
イ. 国際競争力の実績と評価。
ロ. 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

2. 国内選考会の出場資格

- (但し、下記に該当する ITTF の定める世界選手権出場資格を有する者)
開催日程：平成 20 年 12 月を予定。 * 競技方法等の詳細は後日通知。
1) 平成 20 年度 NT 選手および NT 候補選手。
2) 平成 19 年度全日本卓球選手権大会シングルスベスト 16 の選手。
3) 平成 20 年度全日本社会人卓球選手権大会シングルス 2 位以内の選手。
4) 平成 20 年度全日本学生卓球選手権大会シングルス 2 位以内の選手。
5) 平成 20 年度全国高校総合体育大会シングルス 2 位以内の選手。
6) 平成 19 年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部 2 位以内の選手。
7) 平成 20 年度全国中学校卓球大会シングルス優勝者。
8) 平成 20 年度全日本卓球選手権大会カデットシングルス(13・14 才)の部各優勝者。
9) 強化本部推薦(若干名)

3. 出場種目 * 代表選手の出場種目ならびにペアリングは強化本部で決定する。

- 1) シングルス：7 名 2) ダブルス：3 ペア 3) 混合ダブルス：7 ペア
* ダブルス及び混合ダブルスには、シングルスの代表選手の他、4 名を上限として加えることがある。

4. 補足基準

- 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は次の 2 点を勘案し強化本部にて決定する。
イ. 国際競争力の実績と評価
ロ. 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

強化本部

2009 世界卓球選手権横浜大会(個人戦)女子日本代表選手選考基準

- ・大会期日：2009. 4 / 28 ~ 5 / 5、横浜アリーナ
- ・エントリー可能数：男女シングルス各 7 名、男女ダブルス各 3 ペア、混合ダブルス 7 ペア

1. 女子シングルス代表 7 名の選出方法

- (1) 2008 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日までの国際大会（世界選手権・北京オリンピックアジア大陸予選会・アジアカップ・北京オリンピック・プロツアー・プロツアー - ファイナル）においてワールドランキング 20 位以内の選手（同一選手および日本選手は除く）3 名以上に勝利した選手の中から強化本部で評価した推薦：**（最大 4 名）**
- (2) 第 1 次（10 月開催）第 2 次（12 月開催）国内選考会優勝者各 1 名：**（2 名）**
- (3) 平成 20 年度全日本卓球選手権大会女子シングルス優勝者：**（1 名）**
- (4) 強化本部推薦（若干名）
上記（1）～（3）において該当者が 7 名に満たない場合および選手が重複した場合は、次の 2 点を勘案し強化本部にて決定する。
 - イ．国際競争力の実績と評価。
 - ロ．国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

2. 国内選考会の出場資格（下記に該当する ITTF の定める世界選手権大会出場資格を有する者）

< 第 1 次選考会参加資格 >

- 1) 平成 20 年度 NT 選手および NT 候補選手。
- 2) 平成 19 年度全日本卓球選手権大会女子シングルスベスト 16 の選手。
- 3) 平成 19 年度全日本学生卓球選手権大会女子シングルスベスト 4 の選手。
- 4) 平成 19 年度全国高校卓球選手権大会女子シングルスベスト 4 の選手。
- 5) 平成 19 年度全日本卓球選手権大会女子ジュニアの部ベスト 4 の選手。
- 6) 平成 20 年度全国中学校卓球大会女子シングルス優勝者。
- 7) 強化本部推薦（若干名）

< 第 2 次選考会参加資格 >

- 1) 第 1 次国内選考会 2 位 ~ 15 位（14 名）ただし、棄権者が出た場合繰上げ。
- 2) 平成 20 年度全日本社会人卓球選手権大会女子シングルスベスト 4 の選手。
- 3) 平成 20 年度全日本学生卓球選手権大会女子シングルスベスト 4 の選手。
- 4) 平成 20 年度全国高校卓球選手権大会女子シングルスベスト 4 の選手。
- 5) 平成 20 年度全日本卓球選手権大会女子カデットシングルス（13・14 才）の部各優勝者。
- 6) 強化本部推薦（若干名）
* 競技方法等の詳細は派遣依頼文と共に後日連絡する。

3. 出場種目 * 代表選手の出場種目ならびにペアリングは強化本部で決定する。

- 1) シングルス：7 名 2) ダブルス：3 ペア 3) 混合ダブルス：7 ペア
- * ダブルス及び混合ダブルスには、シングルの代表選手その他、4 名を上限として加えることがある。

4. 補足基準

- 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は次の 2 点を勘案し強化本部にて決定する。
 - イ．国際競争力の実績と評価
 - ロ．国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

以上